

筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会

## 9条の会ニュース

NO. 12 2007. 3

名称：筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会

郵便振替口座番号：00120-4-501101

発行責任者：茅野徳治：TEL / FAX 029-857-6593

〒305-0023 つくば市上の室1829-1

### －私の戦争体験－

村上 毅（元蚕糸・昆虫農業技術研究所）

戦争は、私が小学校二年生の年に終わった。したがって「戦争体験」などというのもおこがましいほどのものであるが、それでも忘れられないことがある。

私が生まれ育ったのは山間の小さな農村で、松に覆われた低い山と傾斜に沿って段々に積み重ねたような田圃があるだけであった。こんな土地で育った私の戦争体験といえば、①時々空襲警報のサイレンが鳴り、学校の裏にあった稲荷神社の森に逃げたり、灯火管制で電灯の上や周囲を黒い布で覆っていたこと、また、何月頃だったか記憶がないが、南東方向にある山の向こうの空が、真っ赤に焼けているのを見て、近所の大人たちが「明石がやられている」と話しているのを聞いたことなど。②小さな部落にも大阪や神戸などから何家族もの人達が伝を頼って疎開してきており、牛小屋やニワトリ小屋にまで住んでいた。この人達は、食べるものもなく、たとえお金があっても買える食料もない悲惨な状況におかれていたのを子供心にも知っていた。③終戦の年の6月頃だったと思うが、3歳年上の従兄と田植えの準備をしている親達の所へ行こうとして、部落から50mほど出た所でグラマンとか言われていた艦載機の機銃掃射を受けたこと。この時は田圃に逃げ込んだものの、麦の収穫が終わったあとであり、身を隠すものもなく、畦の下で腹這いになっていた。そのわずか2m程横を土煙が走った。数発の銃弾が乾いた土にめり込んだのである。

この時は操縦士の顔が見えるほどの高度で飛んでいた。今にして思えば私たちが子

供であることは十分に識別できたであろうし、操縦士にも父母があり、幼い弟妹や子供がいたであろうと思われる。それが、まるで狩でもするように、私達を銃撃してきたのである。これは戦争という狂気のさせることとしか考えられない。そしてこのことは、今も、世界中の方々に、行われている戦争の一部分でもある。

私の生まれた小さな部落でも、戦争に行つたまま帰つてこなかった人が何人もいた。この人達は、どこでどうなったかもわからないままである。私たちの父母の世代は、子供に食べさせたくても食べさせるものがない悲惨さ、自分や家族、身の回りの人達の命が危険にさらされるという戦争の不条理を心の底から感じてきたに違いない。それが「二度と戦争しない。武器を持たない。」という世界に類を見ない憲法を支えたのだと思う。そして、食料を確保するために小さな土地を守り、営々と努力してきたのである。それがいつの間にか、自衛隊という軍隊が作られ、肉も野菜も米も輸入した方が安いと考えさせられてしまうようになり、今また、海外派兵までして戦争ができる国にしようとしている。

この流れに抗し、野望を挫くことは、私達の世代が担うべき責務であると考えている。

**改憲手続き法案  
廃案に**

# 2008年5月 「9条世界会議」を 成功させよう！

2008年5月、「9条世界会議」という大規模な国際イベントを東京をはじめとする全国数ヶ所で開催します。

目的は、戦争を放棄し「武力によらずに平和をつくる」と定めた日本国憲法9条の考え方を世界の常識にするためのムーブメントを起こすことです。全国1万人規模をめざします。

すでにジョディ・ウィリアムズさん（地雷廃絶世界キャンペーン）の来日が決まっており、シリル・エバディさん（イラン）やワンガリ・マータイさん（ケニア）といったノーベル平和賞受賞者らが、この構想に大きな関心を寄せています。

## 「9条世界会議」の呼びかけ

私たちは、アジアや世界の市民・NGOと交流する中で、戦争の放棄と軍隊の不保持をうたった憲法9条が日本にとって平和の礎であるのみならず、平和を願う世界の市民にとっての共有財産であることを強く実感してきました。

憲法9条は、言うまでもなくアジア・太平洋戦争の惨害とその反省の上に立ったアジアと世界に対する不戦の誓いです。そして、日本の軍事大国化と海外での武力行使に対する歯止めであり、日本とアジア諸国の平和的信頼関係の基礎にもなっています。

いま、イラク情勢の泥沼化に加え中東は再び大きな危機を抱えています。また、朝鮮半島の核危機の中、東アジアは新たな軍拡競争と戦争の危険に直面しています。このように暴力と戦争の連鎖が続き軍事化が加速する現代世界において、日本の憲法9条は、「武力によらない平和」をめざし活動する世界の多くの市民に勇気を与える存在でもあります。また、軍事費を削減し、貧困の撲滅と持続可能な社会の実現をめざそうという世界のNGOの潮流に大いに寄与するものでもあります。私たちは、この憲法9条こそ世界に誇ることができる「平和の規範」であり、世界の未来に生かしていく

べき宝であると考えます。

1999年5月のハーグ平和国際市民会議は、「各国議会は、日本国憲法第9条のような、政府が戦争をすることを禁止する決議を採択すべきである」と呼びかけました。去る2006年6月にバンクーバーで開催された「世界平和フォーラム」（WPF）は、最終文書で、各国政府が「日本の9条のように憲法で戦争を放棄すること」を求めています。9条への国際的な支持は、確実に高まっているのです。

それにもかかわらず、いま日本では、こうした憲法9条を放棄してしまえという声が高まっています。とりわけ安倍政権の下で、9条改悪の動きは加速しています。改憲論のほとんどは「世界の中の憲法9条」という視点を欠いたものです。私たちは、世界の市民・NGOと共に、世界の共有財産としての9条を支持し「武力によらない平和」を求める大きな運動を起こす必要があると考えます。

そこで私たちは、2008年5月に、大規模な「9条世界会議」を日本で開催することを提案します。この会議は、憲法9条を支持する世界の声を結集するものです。ノーベル平和賞受賞者を含む世界の知識人・文化人らを一斉に招聘し、憲法9条の世界的意義を明らかにし、「武力によらずに平和をつくる」という憲法9条の理念を実現するために世界の市民にできることを論議し合う場としたいと思います。

ノーベル平和賞受賞者であるジョディ・ウィリアムズさん（地雷廃絶世界キャンペーン）、マイレッド・マグワイアさん（北アイルランドの平和活動家）、シリル・エバディさん（イランの女性人権活動家）、ワンガリ・マータイさん（ケニア・グリーンベルト運動）らが、「9条世界会議」の計画に強い関心を示しています。こうしたノーベル平和賞受賞者らに加え、日本以外で非軍事の憲法や規範を持っている、あるいは持とうとしている多くの国々から指導者・運動家らを招聘したいと思います。そして、大規模な講演会と、国際的NGOによる活発な多数の分科会を組み合わせ、全体で1万人規模となる「9条世界会議」を実施したいと思います。海外からの主要ゲスト

トには全国を回ってもらうことも想定して  
います。

すでに、1999年のハーグ平和アピール国際市民会議の主宰者であり、国際平和ピューロー（IPB）元会長のコーラ・ワイズさんは、9条世界会議開催の全面支援を約束しています。また、アナン国連事務総長の呼びかけで始まった国際NGOネットワーク「武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ」（GPPAC）や、国際民主法律家協会（IADL）は、9条世界会議の支援をすでに決定しています。

こうした国際的プロセスと平行して、去る1月29日、「9条世界会議・日本実行委員会」が発足しました。実現と成功のためには、数多くの皆さんのお知恵とお力が必要です。ご参加、ご協力をお願いする次第です。

2007年2月

#### 呼びかけ人（2007. 1. 29現在）

浅井基文（広島平和研究所所長）  
有馬頼底（臨済宗相国寺派管長・金閣寺並びに銀閣寺住職）  
池田香代子（翻訳家）  
伊藤 真（伊藤塾塾長）  
井上ひさし（作家・劇作家・日本ペンクラブ会長）  
内海愛子（日本平和学会会長）  
加藤登紀子（歌手）  
鎌田 實（医師）  
香山リカ（精神科医）  
古今亭菊千代（落語家）  
小森陽一（東京大学教授）  
佐高 信（経済評論家）  
シキタ純（NPO法人ビーグッドカフェ代表理事）  
品川正治（国際開発センター会長、経済同友会終身幹事）  
ジェームズ三木（脚本家）  
辻 信一（NGO「ナマケモノ倶楽部」世話人）  
辻井 喬（詩人、作家）  
中川 敬（ソウル・フラワー・ユニオン）  
新倉 修（日本国際法律家協会会長）  
星川 淳（グリーンピース・ジャパン事務局長）  
松浦悟郎（日本カトリック正義と平和協議会会長）  
三浦光世（三浦綾子記念文学館館長）  
森村誠一（作家）  
山内敏弘（憲法学者）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家）  
ジャン・ユンカーマン（映画監督）  
吉岡達也（ピースボート共同代表）  
渡辺えり子（劇作家・演出家・女優）

9条世界会議・日本実行委員会  
連絡先 169-0075 東京都新宿区高田馬場  
3-14-3 八達ビル2階 ピースボート気付  
Tel : 03-3363-7561 Fax : 03-3363-7562  
E-mail : article-9@peaceboat.gr.jp  
（注：3.11「九条科学者の会」発足2周年記念つ  
どい配付チラシから転載）

#### 集会予定

- 「憲法9条を変える国民投票法案に  
反対する緊急市民集会」
  - ・ 4月14日（土）11時～13時
  - ・ 竹園公園
- 「2007年憲法フェスティバル茨城」
  - ・ 5月3日（木）午前11時30分～
  - ・ 水戸市・千波公園はなみずき広場（屋外）

07年3月31日現在

**賛同者数 810名（+0名）**

（ ）内は前号以降の増加数

#### 事務局だより

○本会では「筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会アピール」への賛同署名を広くお願いしています。

[http://peace.arrow.jp/tsc/i\\_home.php](http://peace.arrow.jp/tsc/i_home.php)  
にアクセスしてください

○9条の会ニュース等の配布は、メールアドレスを登録されている方には電子メールで、それ以外の方には郵送しております。

○「会」へのお問い合わせは

・ 茅野徳治：電話・Fax：029-857-6593

・ e-mail :

岡田安正 [yaokada@mti.biglobe.ne.jp](mailto:yaokada@mti.biglobe.ne.jp)

堀田博之 [zkodaly@nifty.com](mailto:zkodaly@nifty.com)

